

## NYマーケットレポート (2015年11月17日)

NY市場では、序盤に発表された米消費者物価指数が、3ヵ月ぶりのプラスとなったことから、米金融当局が早ければ12月にも利上げに踏み切るとの見方が強まり、ドルは堅調な動きとなった。その後、一時前日比で100ドル以上上昇していたダウ平均株価がマイナス圏まで下落したことから、円を買い戻す動きもみられ、ドル円・クロス円は上値の重い動きとなった。ただ、FOMCの議事録公開を控えて様子見ムードも強く、全般的に値動きは限定的となった。

### 2015/11/17 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	123.28	123.44	123.18
EUR/JPY	131.34	131.80	131.31
GBP/JPY	187.18	187.50	187.11
AUD/JPY	87.31	87.63	87.25
EUR/USD	1.0656	1.0691	1.0650

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	123.34	123.19
EUR/JPY	131.58	131.20
GBP/JPY	187.64	186.88
AUD/JPY	87.81	87.26
EUR/USD	1.0680	1.0642

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19630.63	+236.94
ハンセン指数	22264.25	+253.43
上海総合	3604.80	-2.16
韓国総合指数	1963.58	+20.56
豪ASX200	5118.24	+114.43
インドSENSEX指数	25864.47	+104.37
シンガポールST指数	2916.78	+1.05

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6268.76	+122.38
仏CAC40	4937.31	+133.00
独DAX	10971.04	+257.81
ST欧州600	379.88	+9.24
西IBEX35指数	10363.80	+239.30
伊FTSE MIB指数	22309.39	+498.03
南ア 全株指数	51981.65	+434.27

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	123.42	123.50	123.20
EUR/JPY	131.38	131.63	131.22
GBP/JPY	187.74	188.00	187.29
AUD/JPY	87.85	88.01	87.72
NZD/JPY	79.87	80.00	79.70
EUR/USD	1.0647	1.0677	1.0630
AUD/USD	0.7118	0.7140	0.7112

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17489.50	+6.49
S&P500	2050.44	-2.75
NASDAQ	4986.02	+1.40
日経225 (CME)	19835	+135
🇨🇦 トロント総合	13280.39	-37.13
🇧🇷 ボルサ指数	44184.65	+566.92
🇨🇦 ボベスバ指数	47247.80	+400.93

### 11/18 経済指標スケジュール

08:00	【豪】9月コンファレンスボード景気先行指数
08:30	【豪】10月ウエストバック先行指数
09:30	【豪】3Q貸金コスト指数
17:00	【南ア】10月消費者物価指数
19:00	【スイス】11月ZEW景況感調査
19:00	【欧】9月建設支出
20:00	【南ア】9月実質小売売上高
21:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ポーランド】10月雇用
22:00	【ポーランド】10月平均総賃金
22:30	【米】10月住宅着工件数
22:30	【米】10月建設許可件数
04:00	【米】FOMC議事録公表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1068.60	-15.00
NY 原油	40.67	-1.07
CMEコーン	368.00	+1.25
CBOT 大豆	864.00	+4.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.86%	0.85%
3年債	1.19%	1.18%
5年債	1.66%	1.65%
7年債	2.03%	2.02%
10年債	2.27%	2.27%
30年債	3.05%	3.06%

### 11/18 主要会議・講演・その他予定

- ・アトランタ連銀総裁 講演
- ・NY連銀、クリーブランド連銀総裁 討論会
- ・ダラス連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

### 欧州タイム

#### 《企業決算》

##### 米ウォルマート

第3四半期継続1株営業利益 1.03 ドル (予想 0.98 ドル)

##### 米ホーム・デポ

特別項目除く第3四半期1株利益 1.36 ドル (予想 1.32 ドル)

22:00

ドル/円 123.25 ユーロ/円 131.42 ユーロ/ドル 1.0666

22:00

#### 欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6248.74	+102.36	ダウ 先物ミニ	17497	+76
仏 CAC40	4910.04	+105.73	S&P 500 ミニ	2054.25	+6.25
独 DAX	10907.77	+194.54	NASDAQ 100 ミニ	4576.00	+16.25

(出所: SBILM)

22:30

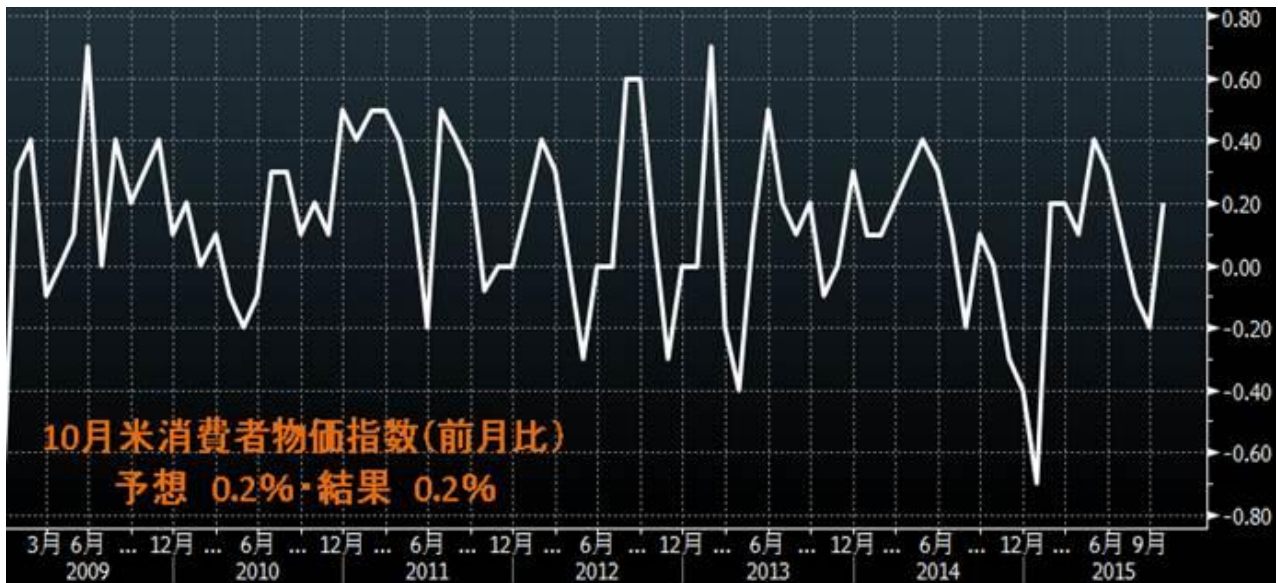
#### 《 経済指標の結果 》

10月米消費者物価指数(前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 -0.2%)

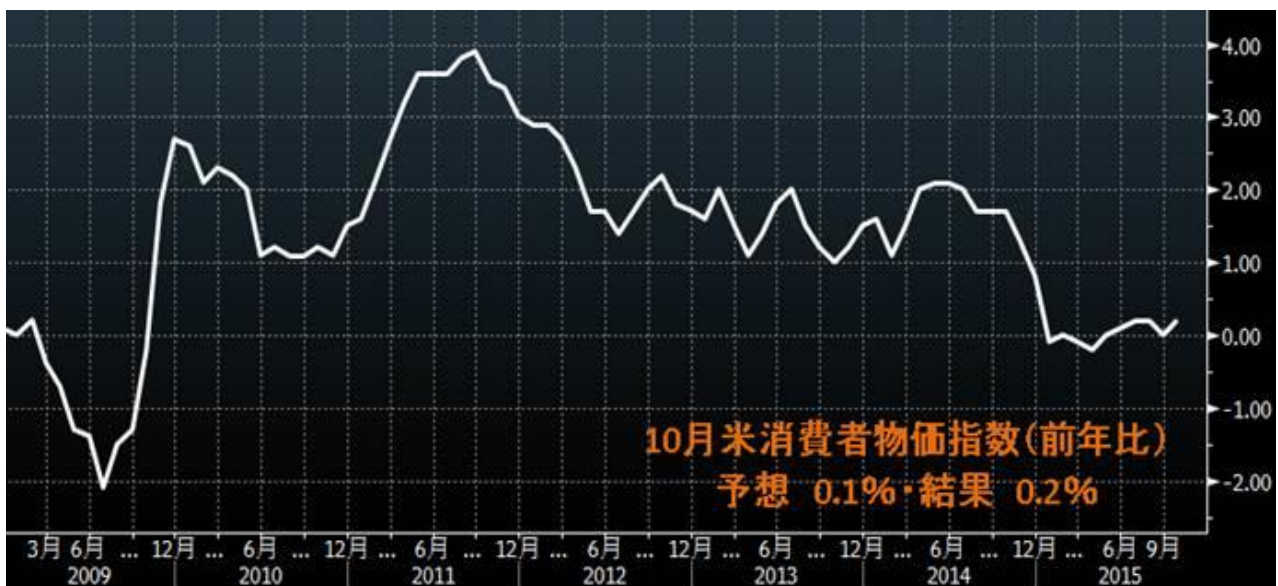
10月米消費者物価指数[コア] 0.2% (予想 0.2%・前回 0.2%)

10月米消費者物価指数(前年比) 0.2% (予想 0.1%・前回 0.0%)

10月米消費者物価指数[コア] 1.9% (予想 1.9%・前回 1.9%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

**指標結果データ**

《消費者物価指数》

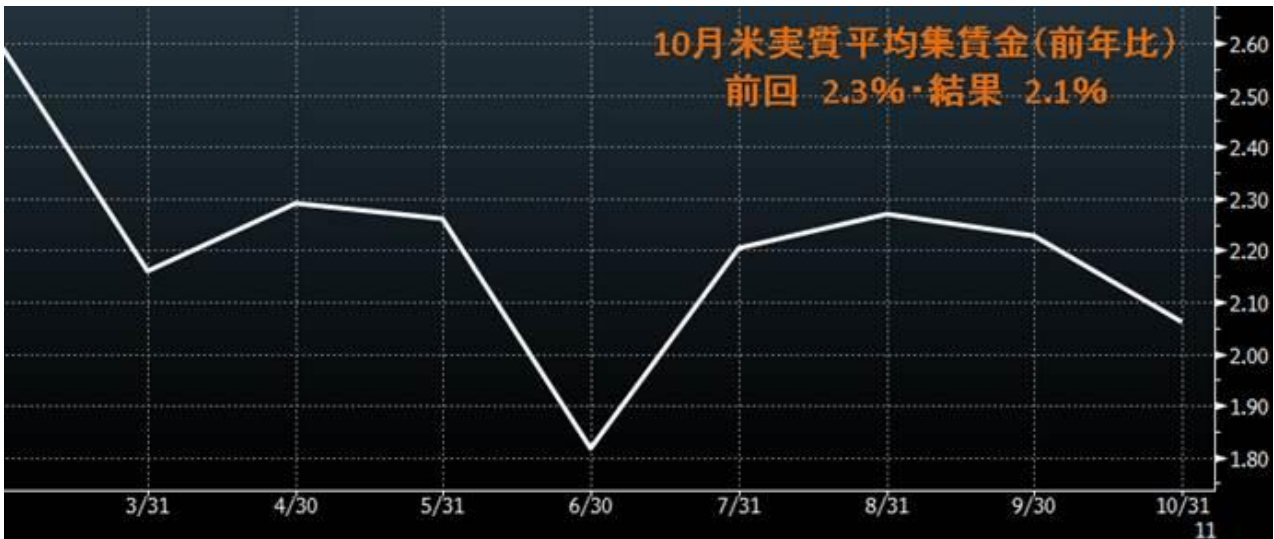
	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
全品目	0.2	-0.2	-0.1	0.1	0.3	0.4	0.1
除く食品・エネルギー	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3
エネルギー	0.3	-4.7	-2.0	0.1	1.7	4.3	-1.3
サービス	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3
食品・飲料	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3	0.0	0.0
居住費	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2



22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米実質平均集賃金(前年比) 2.1% (前回 2.3%)  
 前回発表の2.2%から2.3%に修正



23 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米鉱工業生産(前月比) -0.2% (予想 0.1%・前回 -0.2%)

10月米設備稼働率 77.5% (予想 77.5%・前回 77.7%)  
 前回発表の77.5%から77.7%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

**指標結果データ**

《米鉱工業生産・設備稼働率》

10月・9月・8月・7月・6月・5月

鉱工業生産・・・-0.2・-0.2・0.1・0.8・0.0・-0.4

製造業・・・0.1・-0.1・-0.4・1.0・-0.2・-0.1

鉱業・・・-1.5・-2.0・0.0・1.1・0.0・-2.2

最終財・・・-0.1・0.1・0.0・1.2・-0.1・-0.2

原材料・・・-0.4・-0.3・-0.4・0.7・-0.1・-0.5

設備稼働率・・・77.5・77.7・78.0・78.0・77.5・77.6

製造業・・・76.4・76.2・76.3・76.5・75.7・76.0

鉱業・・・80.5・81.9・84.1・84.0・83.3・83.5

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17509.67	+26.66
ナスダック	4990.10	+5.48

(出所: SBILM)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米NAHB住宅市場指数 62 (予想 64・前回 65)  
 前回発表の64から65に修正



(出所: ブルームバーグ)

指標結果データ

◀NAHB住宅市場指数▶

11月・10月・9月・8月・7月・6月・5月

住宅市場指数・・・62・・・65・・・61・・・61・・・60・・・60・・・54

現状指数・・・67・・・70・・・67・・・66・・・66・・・65・・・58

見通し指数・・・70・・・75・・・68・・・70・・・71・・・69・・・63

顧客動向指数・・・48・・・47・・・47・・・45・・・43・・・44・・・39

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q米住宅ローン延滞率 4.99% (前回 5.30%)



0 : 30

#### ◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、欧州の主要株式相場が軒並み堅調に推移していることを好感した買いが入る一方、原油先物相場が下落基調であることを嫌気した売りも出るなど、主要株価は序盤からもみ合いの展開が続いている。

#### ◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米 10 月の消費者物価指数は、前月比+0.2%となり、3 ヶ月ぶりのプラスとなった。前年同月比では+0.2%となった。ガソリン安などで値下がりしていたエネルギー価格が 3 ヶ月ぶりにプラスに転じる一方、賃貸家賃などが値上がりしたことで、全体を押し上げる結果となった。

①変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.2%となり、前年同月比では+1.9%となった。総合指数、コア指数とも前月比の数字は市場予想と一致した。

②品目別では、エネルギーが+0.3%となり、ガソリンが値上がりする一方、天然ガスは下落が続いた。食品は+0.1%となり、果物・野菜や清涼飲料が値上がりした。賃貸家賃は+0.3%となった。

③消費者物価の持ち直しの動きを受け、市場では年内の利上げ観測が強まる可能性も考えられる。

(2) 10 月の米鉱工業生産指数は、前月比-0.2%と、2 ヶ月連続のマイナスとなった。

①生産指数では、鉱業が-1.5%と 2 ヶ月連続のマイナス、電力・ガスが-2.5%、製造業は+0.4%と 3 ヶ月ぶりのプラスとなった。

②製造業では、電子機器・家電が+1.8%、木工製品が+1.9%、石油・石炭製品が+1.3%、自動車・同部品が+0.7%と 2 ヶ月連続のプラス、金属製品は-0.3%だった。

③10 月の設備稼働率は、前月比 0.2 ポイント低下の 77.5%となり、市場予想と一致した。

(3) 11 月の NAHB (全米ホームビルダー協会) 住宅市場指数は、市場予想を下回る 62 となった。ただ、前月は 65 に上方修正され、2005 年 10 月以来の高水準となった。当該指数は 50 を上回ると住宅建設業者の多くが現況を「良い」とみていることを示す。

①一戸建て販売の現況指数は 67 と、前月の 70 から低下。向こう 6 ヶ月の販売見通しは 70（前月 75）に下げた。購買見込み客足指数は 48（前月 47）に上昇した。

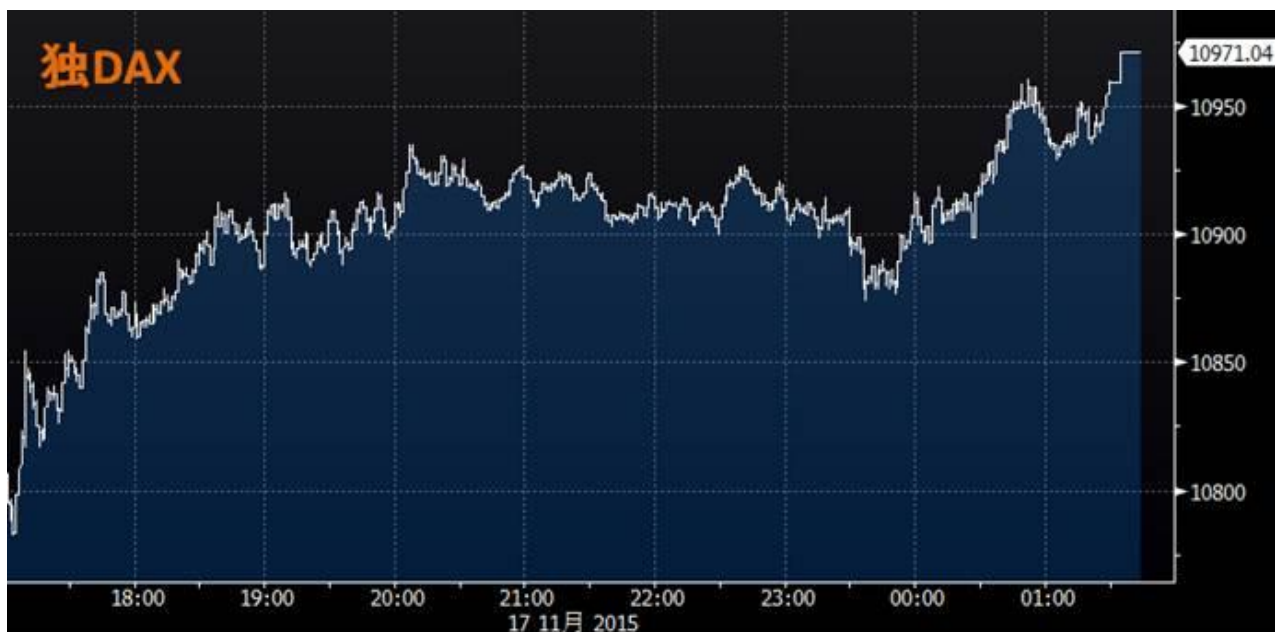
②地域別では、全米 4 地域のうち 2 地域で低下。最も下げたのは南部だった。北東部はほぼ変わらず、西部は上昇した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6268.76	+122.38
仏 CAC40	4937.31	+133.00
独 DAX	10971.04	+257.81
ストック欧州 600 指数	379.88	+9.24
ユーロファースト 300 指数	1498.41	+37.65
スペイン IBEX35 指数	10363.80	+239.30
イタリア FTSE MIB 指数	22309.39	+498.03
南ア アフリカ全株指数	51981.65	+434.27

(出所: SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績改善期待や ECB が年内に追加金融緩和に踏み切るとの見方などで買いが膨らみ、主要株価は大幅続伸となった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17580.96 (+97.95)、S&P500 2063.22 (+10.03) ナスダック 5018.98 (+34.37)



## ◀ 欧州のポイント ▶

- ① ノルウェーの第3・四半期 GDP 速報値は、前期比+1.8%となり、市場予想の+0.2%を上回る結果となった。石油部門を除く GDP は+0.2%と市場予想の+0.1%を上回った。原油価格の下落と石油業界の投資減速が打撃となる一方、ノルウェークローネ安で伝統的な産業が堅調となった。
- ② 欧州委員会は、イタリア、リトアニア、オーストリア、スペインの4カ国の2016年度予算案がEUの財政規律に違反する恐れがあるとの見方を示した。フランスも財政規律が達成できない可能性があるという。同委員会は、移民や難民に対応する費用については特例として扱うと表明した。
- ③ ECB は、監督するユーロ圏の銀行122行に対し、来年から普通株で構成する中核的自己資本（Tier1）のリスク資産に対する比率を平均10.1%以上にするよう求める方針であると、ラウテンシュレーガー専務理事が明らかにした。ただ、各行はバランスシートの状況によって基準が大きく異なっているため、実際には8-14%の範囲になる模様。補完的自己資本項目（Tier2）の比率については平均で約30bp積み増すことを要請する。世界的に事業を展開している銀行に関してはさらにバッファを厚くし、50bpとする。
- ④ スペイン政府は、6、12ヵ月物短期国債入札を実施し、12ヵ月物の平均利回りが-0.049%と、初めてマイナス圏に突入した。前回入札時は0.014%だった。スペインの借り入れコストは、近年の景気回復やECBによる債券買入れプログラムを背景に急速に低下しており、より年限の短い国債の利回りはすでにマイナス圏に突入している。6ヵ月物の平均利回りは-0.098%と、前回10月13日入札時の-0.007%を下回った。落札額は、予定の45億ユーロをやや下回る44億7000万ユーロ（47億7000万ドル）となった。6ヵ月物の応札額は9億5000万ユーロ、12ヵ月物については、応札額は35億2000万ユーロだった。スペイン政府は利回りがゼロを下回った場合、小口投資家の利益を保護するため一部の入札を無効にすることがある。

## ◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株の上昇で投資家のリスク志向が高まり、安全資産とされる米国債の逃避買いが後退した。10月の米消費者物価指数が上昇し、12月の米利上げに対する警戒感が強まったことも、相場を圧迫した。

午前の利回りは、30年債が3.10%（前日3.06%）、10年債が2.31%（2.27%）、7年債が2.07%（2.03%）、5年債が1.70%（1.65%）、3年債が1.22%（1.19%）、2年債が0.88%（0.85%）。

4:20

NY金は、中心限月が前日比15.00ドル安の1オンス=1068.60ドルで取引を終了した。

5:20

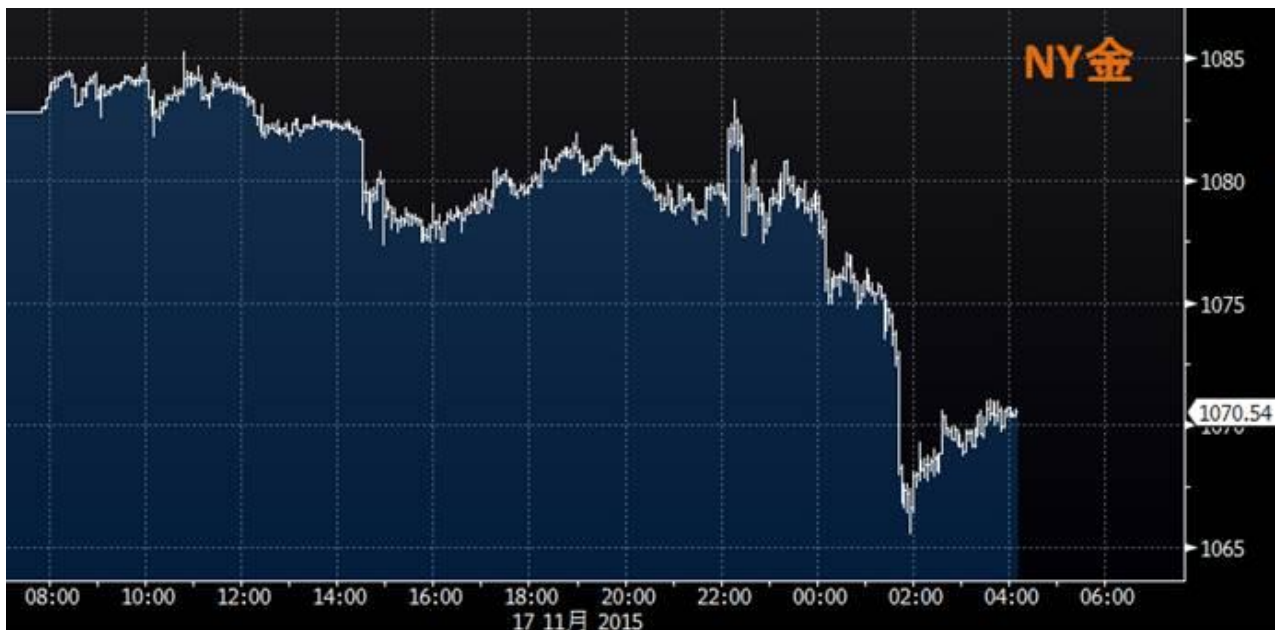
NY原油は、中心限月が前日1.07ドル安の1バレル=40.67ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1068.00	-15.00
NY 原油	40.67	-1.07

(出所: SBILM)

## ◀ NY 金市場 ▶

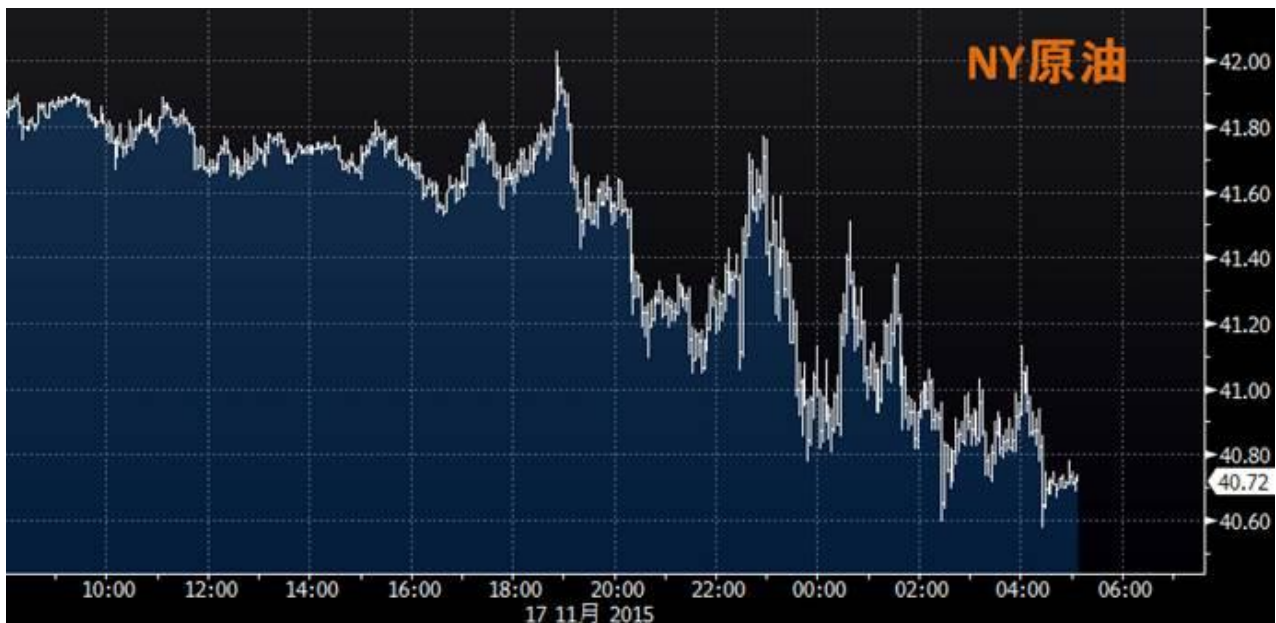
NY金は、米FRBによる12月の利上げ観測を背景に、保有していても金利がつかない金を手放す動きが広がった。また、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産としての需要も後退した。終値ベースでは、2010年2月以来、約5年9ヵ月ぶりの安値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、米石油統計で原油在庫の増加が見込まれるとして供給過剰感が強まり、売りが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことで、ドル建て原油の割高感も売り材料となった。終値ベースでは、8月下旬以来、約3ヵ月ぶりの安値水準となった。



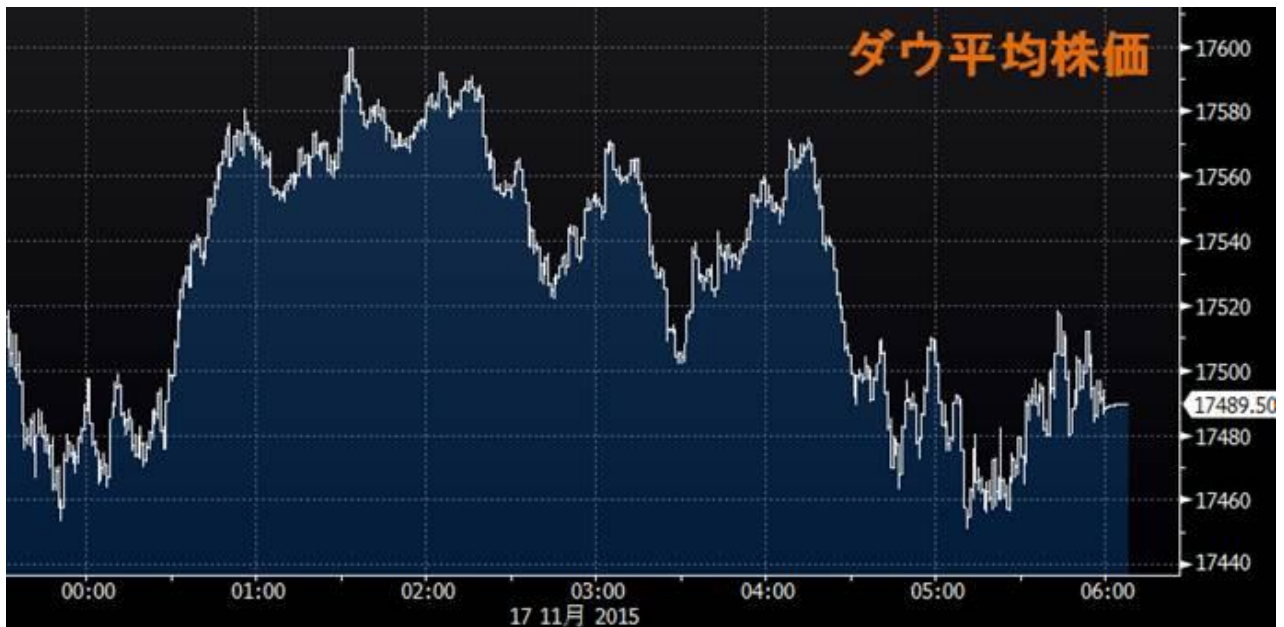
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17489.50	+6.49	17599.33	17451.41
S&P500 種	2050.44	-2.75	2066.69	2045.90
ナスダック	4986.02	+1.40	5023.45	4975.74

(出所: SBILM)

### 《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要株価が軒並み堅調に推移していることを好感した買いが入る一方、原油先物相場が下落基調であることを嫌気した売りも出るなど、主要株価は序盤からもみ合いの展開となった。その後、堅調な動きとなったものの、終盤には一時マイナス圏まで下落する場面もあった。ダウ平均株価は、序盤はもみ合いとなったが、その後前日比 116 ドル高まで上昇した。しかし、その後はマイナス圏まで下げる動きとなり、小幅高で引けた。



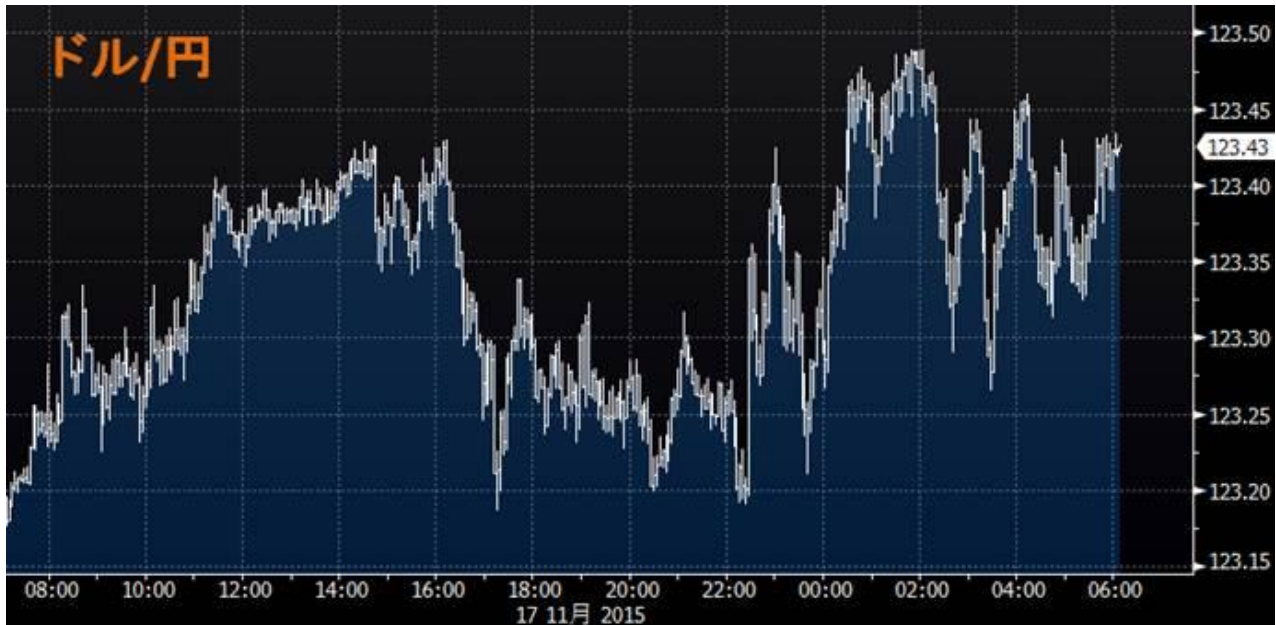
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	123.42	123.50	123.20
EUR/JPY	131.38	131.63	131.22
GBP/JPY	187.74	188.00	187.29
AUD/JPY	87.85	88.01	87.72
NZD/JPY	79.87	80.00	79.70
EUR/USD	1.0647	1.0677	1.0630
AUD/USD	0.7118	0.7140	0.7112

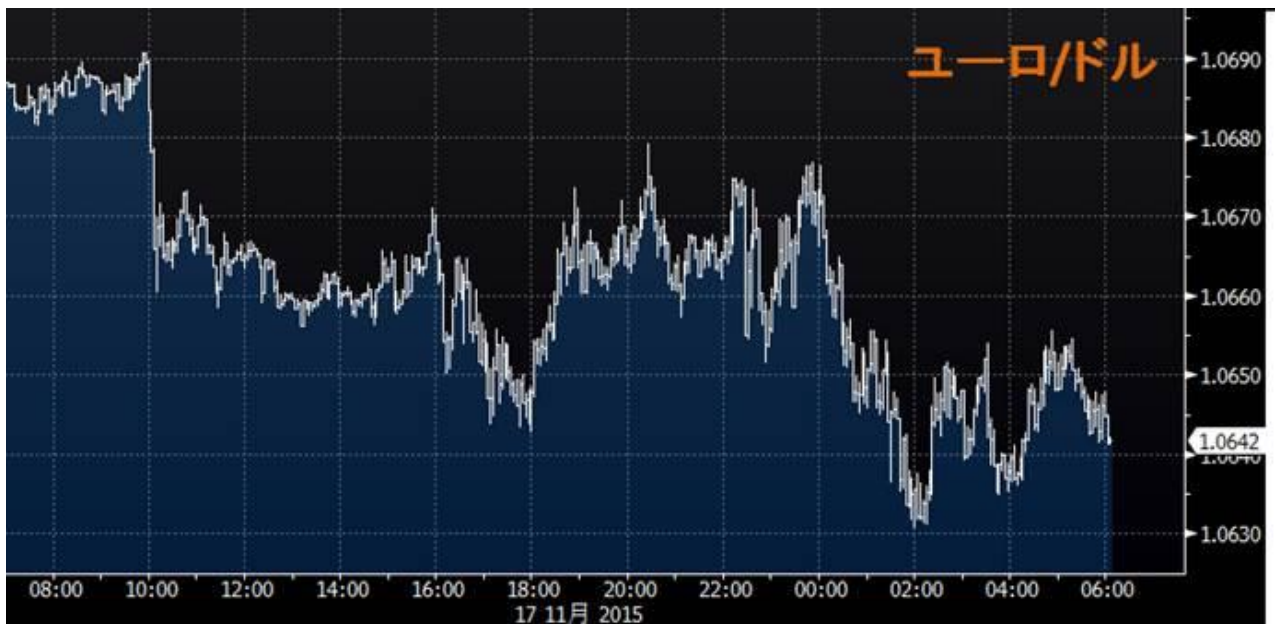
(出所: SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、米物価関連の経済指標が堅調な結果となったことや、株価の上昇を受けて、ドル円・クロス円は小動きながら堅調な動きとなった。しかし、午後には株価が下落に転じたことから、上値の重い動きとなった。ただ、米 FOMC 議事録公開を控えて、限定的な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。